

第23回サデコスクール、「親子でつくる楽器教室」

平成21年7月25日(土)、26日(日)小川町の埼玉伝統工芸会館にて、第23回サデコスクール「親子でつくる楽器教室」が行われました。参加者は、親子12組(子ども20人、大人14人)。

開校式では東京フィルハーモニー交響楽団の首席トランペット奏者・古田俊博氏、辻本 憲一氏とそのグループをお招きして、管楽器ミニコンサートを実施しました。子供たちは間近で聴くプロの生演奏のすばらしさと迫力に圧倒された様子でしたが、楽器作りの意欲が自然に高まったようです。

今年の製作楽器は、恒例のアルペンホルンが8本。ボール紙、ガゼ、和紙を巻いて作りますが、長さが180cmもあるので親子が協力しなければ完成しない大作です。色彩の仕組みの指導も功を奏して、美しくも個性的なアルペンホルンが出来上がりました。この他、紙管タイコ・ミニドラム、ギター、竹琴、ツリーチャイムなど子どもたちの独創性豊かな楽しい作品が勢ぞろいしました。昨年参加した時に見ていた楽器を今年つくりたいと思って参加してくれた子もいました。

作品完成後に演奏会を行いました。完成したばかりの楽器を奏でる子どもたちの表情が明るく印象的でした。一生の思い出になることでしょう。

今年度は、独立行政法人国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金」の助成を受けることができたので、材料の準備はもちろん講師の先生方もたくさんの方にお問い合わせすることができ、充実した事業になりました。

